

令和元年度 中学校「学習指導・評価計画表」教科【数学】学年【3年】

関 数学への関心・意欲・態度  
見 数学的な見方や考え方  
技 数学的な技能  
知 数量や図形などについての知識・理解

月	単元材	学習内容	観点	評価規準(B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
9 ・ 10	4章 関数 $y = ax^2$		関	・具体的な事象の中にある2つの数量に関心を持ち、観察、実験、調査などを通して、関数について考察しようとする。 ・関数 $y = ax^2$ と一次関数との特徴の違いを調べようとする。 ・数量関係を1つの式で表せない場合でも、表、グラフを使って変化のようすを調べようとする。	・具体的な事象の中にある2つの数量に関心を持ち、観察、実験、調査などを通して、関数について進んで考察しようとする。 ・関数 $y = ax^2$ と一次関数との特徴の違いを進んで調べようとする。 ・数量関係を1つの式で表せない場合でも、表、グラフを使って変化のようすを進んで調べようとする。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
			見	・関数の特徴を、表、式、グラフなどを用いて考察することができる。 ・変化の割合について、一次関数との違いをグラフと関連させて考察することができる。 ・数量関係を1つの式で表せない場合でも、表、グラフを使って変化のようすを調べることができます。	・関数の特徴を、表、式、グラフなどを用いて明らかにし、論理的に考察することができる。 ・変化の割合について、一次関数との違いをグラフと関連させて明らかにし、論理的に考察することができる。 ・数量関係を1つの式で表せない場合でも、表、グラフを使って変化のようすを手際よく調べることができます。	
		□関数 $y = ax^2$ の変化の割合	技	・関数を、式、表、グラフに表したり、変化の割合に着目して、その特徴をよみとることができます。 ・数量関係を1つの式で表せない場合でも、表、グラフに表すことができる。	・関数を、式、表、グラフに表したり、変化の割合に着目して、その特徴を手際よくよみとることができます。 ・数量関係を1つの式で表せない場合でも、表、グラフに手際よく表すことができる。	
			知	・関数に関して、変化の様子、グラフの形、aの意味、変化の割合など関数の特徴を理解している。 ・身のまわりの事象の中には既習の関数ではとらえられない関数関係があることを理解している。	・関数に関して、変化の様子、グラフの形、aの意味、変化の割合など関数の特徴を説明することができる。 ・身のまわりの事象の中には既習の関数ではとらえられない関数関係があることを説明することができる。	
	5章 図形と相似		関	・相似な图形の性質に関心をもち、その性質を調べたり、それについて考えたりしようとしている。 ・三角形の相似条件に関心をもち、それについて考えたり、それを用いて照明したりしようとしている。	・形が同じで大きさが違う图形をかいたり、調べることによって、相似な图形の性質に関心をもち、進んでその性質を考えようとしている。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
			見	・三角形の合同条件をよりどころとして、三角形の相似条件を考察しようとする。 ・平行線の線分の比についての性質を、平行線の性質や三角形の相似条件を用いて考察し、証明することができる。	・三角形の合同条件をよりどころとして、三角形の相似条件を論理的に考察しようとする。 ・平行線の線分の比についての性質を、平行線の性質や三角形の相似条件を用いて考察し、論理的に証明し、説明することができる。	
		□相似な图形 □三角形の相似条件 □相似条件と証明	技	・三角形の相似条件を用いて图形の性質の証明をかいたり、图形の性質の証明をよみとったり表したりすることができる。 ・平行線の線分の比などに関する性質を用い、線分の長さを求めることができる。	・三角形の相似条件を用いて图形の性質の証明を手際よくかいたり、的確によみとったり表したりすることができる。 ・平行線の線分の比などに関する性質を用い、線分の長さを的確に求めることができる。	
			知	・相立体の表面積や体積を、相似な立体の相似比と表面積の比、体積の比の関係を使って、求めることができます。	・相立体の表面積や体積を、相似な立体の相似比と表面積の比、体積の比の関係を使って、的確に求めることができる。	
		□平行線と線分の比 □中点連結定理 □相似な图形の面積 □相似な立体の表面積・体積 □相似の利用	技	・图形の相似の意味を理解している。平行線と線分の比に関する性質の特別な場合として、中点連結定理を理解している。	・图形の相似の意味を説明できる平行線と線分の比に関する性質の特別な場合として、中点連結定理を説明することができる。	
			知	・相似な图形の相似比と面積比の関係や、立体の相似の意味と性質、相似比と表面積の比、体積の比の関係を理解している。	・相似な图形の相似比と面積比の関係や、立体の相似の意味と性質、相似比と表面積の比、体積の比の関係を説明することができる。	

12	6章 円の性質	□円周角と中心角 □円の性質の利用	閲 見	・観察、操作等を通して、円周角の性質を調べようとする。	・観察、操作等を通して、円周角の性質を進んで調べようとする。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
			技	・観察、操作等を通して円周角の性質を見い出すことができる。	・観察、操作等を通して、円周角の性質を考察すことができる。	
			知	・円周角の定理を使って角の大きさを求めることができる。 ・円周角の定理、弧と円周角の関係を理解している。	・円周角の定理を使って角の大きさを的確に求めることができる。 ・円周角の定理、弧と円周角の関係を説明することができる。	
			閲 見	・いくつかの直角三角形について、3辺の長さの間に成り立つ関係に着目し、観察、操作や実験を通して、共通の性質を見い出し、考察しようとする。	・いくつかの直角三角形について、3辺の長さの間に成り立つ関係に着目し、観察、操作や実験を通して、共通の性質を見い出し、進んで考察しようとする。	
1 · 2	7章 三平方の定理	□三平方の定理 □平面図形への利用 □空間図形への利用	閲 見	・直角三角形になるかどうかは、3辺の長さの関係によって決定されことなど、三平方の定理の意味を考察することができる。	・直角三角形になるかどうかは、3辺の長さの関係によって決定されることなど、三平方の定理の意味を論理的に考察することができる。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
			技	・三平方の定理を用いて、長方形や直方体の対角線の長さなどを計算で求めることができる。 ・三平方の定理をもとに直角をつくることができる。	・三平方の定理を用いて、長方形や直方体の対角線の長さなどを計算で的確に求めることができる。 ・三平方の定理をもとに直角を手際よく、つくることができる。	
			知	・三平方の定理は、直角三角形の3辺の長さの関係を表すとともに、面積の関係を表すものであることを理解している。 ・平面図形や空間図形の計量を行う場面や直角を作ったりする場面に、三平方の定理が用いられるることを理解している。	・三平方の定理は、直角三角形の3辺の長さの関係を表すとともに、面積の関係を表すものであることを説明できる。 ・平面図形や空間図形の計量を行う場面や直角を作ったりする場面に、三平方の定理が用いられるることを説明できる。	
			閲 見	・調査の目的に応じて、全数調査と標本調査のどちらが適切かを考えようとし、標本調査を行う場合に、どのように標本を抽出すればよいかを考えようとする。	・調査の目的に応じて、全数調査と標本調査のどちらが適切かを考えようとし、標本調査を行う場合に、どのように標本を抽出すればよいかを進んで考えようとする。	
2 · 3	8章 標本調査	□標本調査 □標本調査の活用	技	・母集団の傾向を調べるために、標本調査を行うことのよさについて理解している。	・母集団の傾向を調べるために、標本調査を行うことのよさについて説明することができる。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
			知	・標本調査の結果から母集団の傾向を推測することができる。	・標本調査の結果から母集団の傾向を論理的に推測できる。	
			閲 見	・標本調査の必要性と意味、無作為抽出の意味を理解している。	・標本調査の必要性と意味、無作為抽出の意味を説明することができる。	